



# ふじみ自然塾 だより

2018.7.2

第15-1号

発行；富士見市民大学  
ふじみ自然塾  
編集；同 企画運営スタッフ  
発行日；不定期

## 1. ふじみ自然塾 開講

6月23日10:00から南畑公民館和室1において、第41期市民大学ふじみ自然塾を開講した。

オープニングでは、受講のしおりにもとづきオリエンテーションを行い、さらに、実習農場と特別研修コース

## 2. 基調講演&農場実習(さつま芋苗の植付)

開講当日の午後は基調公演後に農業実習の計画であったが、15:00頃から雨の予報だったので、先に農業実習を行うことにした。

まず、第1実習農場でキュウリ・ナス・万願寺トウガランの生育状況を見学。第2実習農場ではトマト・枝豆・ジャガ芋・里芋の生育状況を見学、ジャガ芋の試し掘り、里芋未発芽箇所へポットで育てた里芋を補植をした。

その後、サツマ芋畑で渋谷先生と合流し、自己紹介を行ってから、サツマ芋苗の植付を行う。先生の実演・指導の後、皆で「紅ハルカ」の苗を3畝に約200本植付けた。今朝、畝立てした柔らかな土の感触が心地良かった。さらに、20本程苗が余ったので別の圃場へ植付。こちらは土が固くて苦労した。途中で少し雨がパラついたが、大したことなく無事に農業実習を行うことができた。



写真②；基調講演

## 3. 第2回講座 大豆の種まき

6月30日14:30~17:30に第1実習農場の休耕中スペースに大豆の種まきを行った。また、作業の合間に、第2農場でジャガ芋を収穫した。29日に関東甲信は最速の梅雨明け、暑さが心配されたが無事予定作業終了。

まず、草肥と雑草を除去し、先生に耕耘機をかけていただき、その後、スコップとクワで畝作りして、大豆の種をまいた。種まき後は、乾燥防止と発芽時に鳥に食べられぬように、遮光ネットを掛けた。

さらに、4~5日間は晴天が続く予報のため、ポンプを使ってタップリと水やりをした。

最後に、感想を述べあい、講座は終了。その後、ジャ

について紹介した。また、受講の動機やこれから始まる講座に対する希望など、アンケートを記入いただいた。

昼食時には、スタッフが実習農場で朝採りしてきたキュウリを自然塾で作った味噌を付け賞味した。皆、美味しいオイシイと好評だった。



写真①；サツマ芋苗の植付

14:30頃に南畑公民館へ戻り、会議室で渋谷先生の基調講演。この頃から雨も本格的に。あらためて自己紹介をお願いし、就農の動機に始まり、無肥料自然栽培との出会い、さらに、無肥料自然栽培に対する考えなど説明いただいた。「渋谷農園の無肥料自然栽培の実際」では、自然栽培の取り組み、南畑と三芳の畑の使い分け、一部の野菜は種類や収穫時期調整のため有機栽培を併用しているとの説明があった。

さらにQ&Aで連作や輪作の実際などについて説明いただいた。

最後に、一人づつ感想や今後の希望などを述べあい、試し掘りしたジャガ芋をお土産に、16:10に散会した。



写真③；大豆の種まき

ガ芋を分配し、散会した。